



大津市議会議員

すべてのひとが輝くために可能性を実現できるまちづくりを目指します!

かわい昭成 News Report

皆さんの声を思いをつないで皆さんと共に明日の大津へ

2017年5月26日発行 第8号

後援会資料 かわい昭成後援会 会報 発行：かわい昭成後援会 事務局 E-mail : otayori@a-kawai.net URL : http://www.a-kawai.net/

ごあいさつに代えて

日ごろの皆様のご支援に感謝申し上げます。2017年度の初めにあたり2016年度の活動などをまとめた後援会報を作成しましたのでご一読いただけましたら幸いです。

さて、地方議会は今まで以上に政策立案能力が求められています。「地方が自ら考え、行動し、変革を起こしていくこと」が重要とされる「地方創生」がキーワードとなっていることもあります。また、「大津市をより住みよいまちとする」ためには、地域が、地域に合った課題解決のカタチを見つけて実行することは当たり前のことだと思っています。政策立案能力に磨きをかけ、本年度も市政の課題解決に向けて政策提言にしっかりと取り組んでいきたいと決意を新たにしています。引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

大津市議会議員 河井 昭成



プロフィール Profile

生年月日 1973年7月22日 (43歳)
体 格 173cm、70kg前後
家族構成 妻、長男(7歳)、長女(4歳)
趣 味 読書 バレーボール
好きな言葉 千里の道も一歩から

現在 民進党滋賀県連 幹事長代理
民進党滋賀県第一区総支部 幹事長

略歴 1999年 3月 早稲田大学大学院 理工学研究科 修了
1999年 4月 東レ株式会社 入社
2008年 12月～
2010年 11月 東レ労働組合 滋賀支部役員
2011年 4月 大津市議会議員 1期目
2015年 4月 大津市議会議員 2期目

所属会派 市民ネット21

議会 平成29年度 教育厚生常任委員会 委員長
平成28年度 監査委員
平成26年度 スポーツ推進等対策特別委員会 副委員長
平成23年度 生活産業常任委員会 副委員長

皆さんの声を思いをつないで皆さんと共に明日の大津へ かわいの目指す3つの視点

Go to Next Otsu



子どもが健やかに
育つ・育てられる環境の整備

こころ・からだ・あたま
生きる力と基礎学力を身につける教育の推進

健康でいつまでも生涯スポーツ
の推進と医療・介護など福祉施策の充実



働くことを軸とした社会を
安定した雇用環境の確保と産業の活性化

すべての人に居場所と出番
多様性を尊重した協働社会の構築

地域のことは地域で決める
情報公開と市民参加による地域自治の推進



守り伝える大津の誇る豊かな自然と
文化・歴史遺産の保全と産業・観光への活用

つくるからつかうまでを考える
新しいエネルギー社会の構築

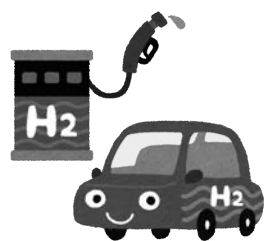
安全・機能的・コンパクト
将来を見据えたまちづくりの推進



6月通常会議

9月通常会議

エネルギーとしての水素の位置づけは?



2016年3月に国(経済産業省)から示された「水素・燃料電池戦略ロードマップ改訂版」や同じく3月に県から示された「しがエネルギービジョン」に、水素エネルギーに関して記述があります。エネルギーとしての水素について、大津市としてどのような位置づけとするのかと、水素自動車の導入や水素ステーションの設置の支援などについて問いました。

現状は、水素エネルギーについては「様子見」という答弁でした。しかし、電気や自動車の燃料などのエネルギーは私たちの生活に欠かせないものです。太陽光発電にも課題が多くあります。次世代のエネルギーについては、国や県の動向も見ながら、エネルギーを消費する生活の現場に近い地方自治体としても、常に情報収集、研究、検討を行っておく必要があると考えます。

この他に「太陽光発電について」「観光について」質問を行いました。

施設の維持管理は早め、早めの対応を!

最近、大津市内の児童遊園地で黄色いテープがぐるぐる巻かれている遊具を目にすることがあると思います。遊具が傷みきつてからの修繕となっていて、費用も手間もかかり、対応に時間を要しています。遊具の修繕はもちろんですが、今後、このような状況にしないためのしくみづくりが大切です。

そのために、不具合を初期の段階で発見し、今よりも早めの修繕を行うことが必要です。数に限りがある市職員だけで早めに不具合を発見するのは困難なので、日頃施設を使用している市民の皆さんに、この役を一部担ってもらって --- 市民による積極的な通報のしくみについて提案しました。

この他に「ごみ発電の実施を見通したごみの取り扱いについて」、「消防団の担い手の確保のために」、「児童クラブの設備について」質問をしました。



※水素エネルギー

水素エネルギーとは、再生可能エネルギーの一つで、別名「水素燃料」とも呼ばれていて、水素を原料として生産されます。水素は色々な原料から取り出せるので、水素を利用したエネルギーが期待されています。

こんなことが
変わりました!

【2014年6月の一般質問で父親の育児参画への支援として環境整備を求めた結果】

市役所内のトイレ、男子便所の一部にフィッティングボードが設置されました。

イクメンの強い味方!



トイレの扉にも案内表示が追加されました

外出先での子供のお着替えに便利なアイテム。女子トイレにはよく設置されているようですが、男子トイレでは見かけません。

【2017年2月議会の一般質問で、水銀を含む蛍光灯の廃棄の見直しを求めた結果】

一般家庭が廃棄する蛍光灯の割れていないものについて平成29年度から分別処理をする試験が行われます。

【2016年11月議会の一般質問で、児童クラブの施設の課題を指摘した結果】

青山、瀬田東の児童クラブ増設にあたって、音の反響やトイレの数など過去の不具合に配慮した設計がされます。

ガス事業、必要な情報を示して議論を

「**コンセッション**」という聞きなれない言葉を用いて、企業局のガス事業の運営に関する将来像が示されました。民間の事業者と組んで、新しい官民連携の会社を立ち上げて、その新会社がガスの販売事業を行い、天津市の企業局は導管を提供するというカタチが案として示されています。2017年4月からガス事業の全面自由化などの経営環境の変化を受けてのことです。

何らかの手を打つことについては、河井自身も早い段階でガスの自由化に向けた検討をするべきだと指摘してきたとおり必要なことであると考えます。しかし、今回の示された案は、良いことしか示されておらず、定量的な情報はありません。良し悪しの判断をするには、情報が偏っている、不足しているとします。

一例を挙げるならば、官民連携の会社を立ち上げれば、新しい会社での管理費など費用が発生します。この費用は、どこかで捻出することになるため、ガス料金に影響すると考えるところですが、このことを説明する数値データや説明はありません。

スピード感は必要ですが、十分な検討・議論をしなくて良いということではないと考えます。議会の判断の際には十分な情報が示されることを求めました。答弁は明確とは言い難いものでしたが、議会でしっかりとした議論が行えるように、しかるべき時期にしかるべき情報が示されるべきと考えています。

※他に「PFI事業について」「民間委託の推進について」質問しました。

※コンセッション…

高速道路、空港、上下水道などの料金徴収を伴う公共施設などについて、施設の所有権を発注者（公的機関）に残したまま、運営を特別目的会社として設立される民間事業者が行う基本計画のこと。

※PFI事業とは…

4ページの活動報告「中学校と保育園と福祉施設と文化施設と」にて県外視察を報告させて頂いております。そこにPFIの内容・参考事例を掲載しております。

給与構造改革は目的に沿った改革か？

この議会に人事・給与構造改革のための条例案が提案されていきました。目的は職員の仕事に対する「モチベーションの向上」。概要は、非管理職の各級の給与上限を低くし、管理職直前の職級（天津市役所では5級）を1階級無くすことで、管理職と非管理職の差を広げる。これで管理職への昇任意欲を向上させるとされています。

併せて付随する効果として、年間2.4億円の人件費削減効果があるとされています。この数字が示す「総額人件費の削減」のためならば、今回の改革の内容について理解しますが、給与を下げた「モチベーションを向上させる」とは…。

目的を示さず民間の人事担当者に、この提案を実行するとのようなことが懸念されるか？と問えば、「短期的には、給与が下がる人（管理職手前の層の職員）のモチベーションの低下。長期的には、管理職に昇任しなければ概ね42歳で昇給が止まるのと、管理職はポスト管理を徹底するので、管理職手前の層（改革後の4級）の滞留が従来よりも顕著となり、モチベーションを維持するのが難しい。だから改革を実行する際にはモチベーションの低下防止策が必要である。」ということが指摘されると思います。そう遠くない将来に問題になると考えます。これは持続可能なシステムと言いたいと思います。

この提案の目的は、総額人件費の削減ではなく、あくまで「職員のモチベーションを上げること」であり、これをもって市民サービスの向上につながるとあります。目的が「モチベーションの向上」である以上、今回の改革案は、目的にかなうものではないと判断します。他の効果があっても本来の目的が達成されないのであれば、これは正しい選択ではないと考えます。また、職員のモチベーションが下がるならば市民サービスの低下が懸念されます。議論が平行線となることは判っていましたが、この議題について問題点を指摘する質問を行いました。

※他に「蛍光灯の廃棄について」「ガス事業について」「長時間労働対策および時間外労働の削減について」質問を行いました。

土地利用基本条例の制定に向けて 天津市議会の挑戦

党派会派を超え議会として「議会改革」に取り組む天津市議会ですが、天津市の議会改革の柱となるのが政策検討会議です。課題やテーマ毎に一人会派を含むすべての会派から代表者を出して議論し、天津市子どものいじめの防止に関する条例や議会のBCP（業務継続計画）などの条例制定や計画策定につなげています。現在取り組んでいるテーマは、執行部が長年検討しながら提案に至らなかった「土地利用基本条例」です。

法律が定める基準に合致していれば開発行為は許可されます。しかしそれが都市計画マスタープランをはじめとする土地

利用やまちづくりに関する各種計画に沿っているかは別問題です。人口減少局面でのまちづくりは後者の視点が重要と考えますが、現状対応しきれていません。土地利用は「不可逆」で「課題が見えたときには対応が困難」この2点を意識して、現場に課題が現れる前に対応する仕組みをつくる必要があると提言しています。市民が主役で地域にあったまちづくりが進められるよう取り組んでいきたいと思ひます。





第七中学校の外観

中学校校舎の更新のタイミングで保育園、高齢者福祉施設、文化施設を併せて建築した（なんと盛りだくさん!）市川市立第七中学校の事例を視察しました。

ハード面の特徴は、PFI の手法を採用されており、中学校だけで見ても、廊下などのスペースが広い、2階ぶち抜きの教室や図書室があるなど、民間提案による校舎は天津の学校施設には見られないデザインでした。コストは市での当初の見積りよりも約 25%低く抑えられての建築となっているそうです。

（PFI で可能となったとの説明でしたが、従来の手法でも民間の提案をしっかり聞きながら計画すれば、いい施設が低コストで実現できるという可能性を示しているのではないかと考えます。）

ソフト面では、セキュリティの関係で各施設間の扉は通常は閉ですが、施設が近接しているので行き来が容易なため、高齢者との給食や保育園での保育体験などを通じて、高齢者、保育園児とのふれあいが日常的にあります。生徒は非常に落ち着いており、教育的な観点からも「他の施設との複合による」良い影響だと考えていると教頭先生から伺いました。

大変参考になる事例を視察することができました。



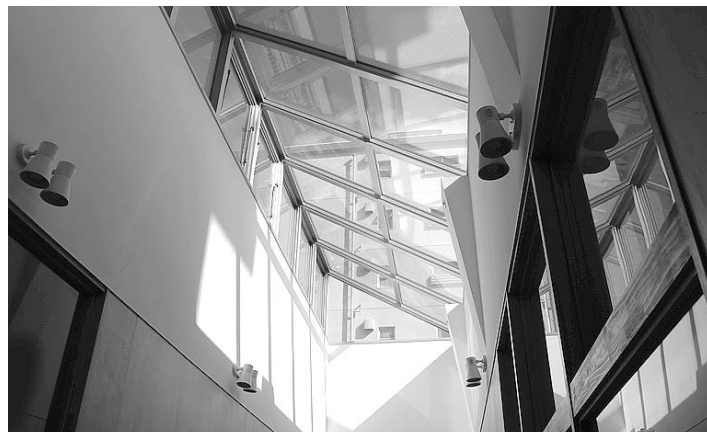
※PFI とは…

民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方

概要説明を受けた教室、給食など多目的に使用する部屋だそうです。2階ぶち抜き、開放的で明るい。



中学校の図書室。この部屋も2階ぶち抜き。ちなみに学校司書が常駐。



自然採光が施された保育園の天井

千葉県市川市のゆるキャラだよ
市民マナー条例キャラクター
マナリン



※千葉県市川市

千葉県北西部の葛南地域に位置する市。旧東葛飾郡。
千葉市、船橋市、松戸市に次ぎ千葉県では人口 482,544 人で第 4 位。

人とまちの魅力を引き出すことが市政の役割!!

皆さんの **ご意見、ご要望** など お聞かせください。

後援会へのご入会については、
「かわい昭成後援会事務所」までご連絡ください。

かわい昭成後援会事務所

所在地：大津市園山 1-1-1 東レ労働組合滋賀支部内
TEL：077-537-2137 FAX：077-534-8538

